

(別紙5)

整理番号 2024P-133  
補助事業名 2024年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人銀鈴会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

当会は喉頭摘出手術を受けた失声者に対し、声を取り戻す発声指導を行い、会員の社会復帰を支援すると共に会員相互の親睦を通じて発声能力の向上を図っています。

当事業では、スピーチ大会を通して発声力を会員に披露し、全国の喉頭摘出者に声を取り戻す素晴らしさを示すことで、発声訓練への啓発・普及に貢献しています。

### (2) 実施内容

声を取り戻した全国の発声自慢の会員が一堂に会し、スピーチ発表を行います。

大会名は「第12回全国喉摘者発声大会」であり、その様子は当会ホームページの以下のURLで紹介しています。

[第12回全国大会 - 公益社団法人 銀鈴会 \(ginreikai.net\)](http://ginreikai.net)

### (3) 大会出場者の選考

全国6ブロック毎に予選会を行い、ブロックの成績優秀者が全国大会に出場します。優勝者には厚生労働大臣賞が授与されます。今大会より食道発声に加えEL発声の優勝者にも大臣賞が授与され、大会参加者にとって大きな励みになりました。



司会者から開会宣言



会場風景

(別紙5)



日喉連 渡邊会長の挨拶



来賓 厚生労働省挨拶



食道発声出場者



EL発声出場者



食道発声の部 優勝者



EL発声の部 優勝者



吉原審査委員長の講評



大会終了後の集合記念写真

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

喉頭摘出で失声した者は、新たな代用音声を獲得することで社会活動範囲がより広くなることから、この大会を通じて認識ができます。この認識を多くの失声者に知ってもらう絶好の機会が大会です。出場者は、それぞれの団体の発声教室で発声力の研鑽に努めた結果が大会発表のスピーチに繋がっています。よって、日々の発声教室訓練の重要性を知っていただく唯一の場として多くの効果が期待されます。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

第12回全国喉摘者発声大会 映像DVD 100枚

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

銀鈴会の機関誌「ぎんれいだより」800部 5月発刊予定

銀鈴会の機関誌「銀鈴」 800部 9月発刊予定

日喉連の機関誌「日喉連」4,500部 9月発刊予定

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人銀鈴会 (コウエキシャダンホウジン ギンレイカイ)

住所： 〒105-0004

東京都港区新橋5-7-13 ビュロー新橋901

代表者： 会長 渡邊 操 (ワタナベ ミサオ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長 尾上 公敏 (オノエ マサトシ)

電話番号： 03-3436-1820

F A X： 03-3436-3497

E - m a i l： office@ginreikai.or.jp

U R L： <https://www.ginreikai.net/>